常磐毎日新聞

八月四日夕刊

日刊

發行所　常磐毎日新聞社
印刷所　常磐毎日印刷株式會社
電話　六三〇番

[illegible]
今晩は北東の風
小雨模樣
明日は北東の風
晴一時曇

轉業者を中心に平職紹の懇談會

先づ物資動員の徹底へ

物資動員によつて生ずべき失業者に對しては政府は先づ轉業させる方針の下にそれ／＼對策を練つてゐるが、平職業紹介所では近く今次の物資動員によつて最も甚大な打撃を蒙つた皮革、鐵工業者である市內の靴屋さん鍛冶、鑄物工、ブリキ職等の業者を集め轉業對策座談會を開くことになり目下準備を進めてゐる

この座談會の目的は業者に對し先づ物資動員の徹底を説き次いで店舗の經營法から最後に從業員の轉業問題に及んで現在營業繼續困難な者には轉業をすゝめ紹介所としては極力これが補導斡旋をなすもとに業者との隔意なき懇談を遂げるものである

△△△△△下町界隈に鐵成金現出？

飛ぶ樣に賣れる古鐵屋

赤サビの屑物でも飛ぶやうに賣れる昨今の〝鐵饑饉時代現出〟で市內の各鐵工所附近や町內各所には古鐵屑探しが雨後の筍のやうに出現してゐるが古釘、鐵板等一日四貫位拾ひ上げ一貫匁二十錢で賣り捌つてゐるので大變な景氣を見せてゐる

業者を動員

木炭報國に邁進

燃料報國に備つて磐三郡

木炭同業組合は石城、双葉、相馬三郡下の製炭業者三百餘名を動員して品質改良、增產による木炭報國を企て之が目的遂行のためこの程ポスター及びビラを配布したがこれと同時に一般業者に向つて貯蓄を奬勵精神總動員の萬全を期してゐる

市議連の大時計寄贈

平第四小學校の竣工式は過般擧行されたがこの程市會議員一同が出金し美事な大時計一個を寄贈した

桃の品評會

七日藤田に開く

平市果樹組合ではいよ／＼桃の出盛りに入つたので來る七日市內藤田女學校に桃果品評會を開くが

出陳數は小箱二箱を一點とし約三百箱の見込みで

午前八時から審査を行ひ等級（入賞は出陳數の約三割）を決定、同十時から試食即賣を行ふ事となつた

同組合は大正五年創設平窪果樹組合として品質の改良、移出策に努めて來たもので市制實施と共に改稱されたもので組合員百五名の多きにより今後を期待されてゐる

軍用候補馬鍛錬試乘會

銃後の强化を目指し結成された平愛馬會軍用候補馬鍛錬會試乘會は十九日市內八幡小路で行はれる

米穀植田商新裝成る

植田町米穀商組合では從來の組合を解散して新たに一町二ケ村（植田、山田、錦）の組合を組織て强化刷新を圖る事となり去二日總會を開き左記の如く役員を選任し今後益々事業發展向上に努力、業者間の目的融合を圖る事と打合せた

組合長小野保、副組合長山際作平、會計菅野六郎、幹事鷲文治、小泉甚三郎、佐藤丑藏、蛭田辰治

仕事の餘暇に作つた慰問袋

片倉女工さん達の銃後美談

平市片倉磐城製糸工場女工さん達は仕事の餘暇を利用して慰問袋七十個を作成今四日市役所へ寄託した

帝都の「生物御免」に鮮魚下落

不漁に次ぐコレラ騒ぎで

石城七濱頗る憂欝

帝都のコレラ恐怖騒ぎが遂に石城七濱にも影響一日以來の魚相場が俄然下押しとなり漁民は憂欝顔である—他人の不幸を喜ぶわけではないが二日朝の豫想では各方面からの鮮魚の移出が止まる結果相場はグンと昂騰するものと思はれたが蓋をあけてみると一日には月初めでやゝ騰勢を示してた相場が今は〝生物一切御免〟の禁札に法氣を振ふ東京市場の不人氣が祟つて下押し氣配になりいづれも二十錢安といふ悲觀値が生れ甚しいものは一割下げといふ體たらくで目下の處漁民達は勿論、仲買人達も案に相違の面持で先行を注視してゐるが、このところ當分帝都の生魚恐怖病は解けさうもなく小名濱市場では

これが立派に石城產だとスタンプを打つて出せばこつちもいゝし、東京市民も安心して喰ふと思ひますがそんなことは出來る相談ではなく仕方がないから成行を見ませうと嘆聲を洩らしてゐる

大子堂祭典

仕掛花火は中止

九品寺境內の大子堂祭典は十七日執行されるが時局柄毎年呼物となつてゐる仕掛花火は取止め餘興に活動寫眞を催す尚今年は特に出征軍人の武運長久を祈ると共に區內出身應召家人、軍屬の家庭へ守札を贈ると

檢査を受けず

炭屋さんお灸

草野村大字泉崎字向原木炭製造業黒田仁次郎（四二）は未檢査の木炭を賣却したこと發覺今四日平區から木炭檢査規則違反で略式罰金十円に處された

銃後を荒す不屆者

平區で懲役八ケ月

既報修繕して貰ひたいと依頼された時計を入質遊興に費消したこと發覺檢擧された目下住居不定河沼郡柳津村生れ時計修繕業蜂谷一雄（三四）の公判は今四日午前十時から平區で中谷判事係り富澤檢事立會の下に開廷されたが

同人は時計を横領した外四倉町字本町小學校教員谷澤愛子さんの夫が出征してゐるのを附込みアナタの旦那さんとは會津中學時代友達でしたと欺き十餘圓を騙取したこと自白

詐欺並に業務上横領罪で檢事の求刑通り懲役八ケ月を即決で言渡された

平市で

遺家族慰問

平市では明五日午前九時から應召軍人並に戰病死者遺族を歷訪慰問する

阿部我孫子兩氏

縣燃料委員に任命

本縣物價委員會は本縣獨自の立場から交通費並に燃料價格の標準を決定すべき兩專門委員を擧げることになつてゐたがこの程燃料委員に平市の石炭販賣業阿部政右衛門氏並に古河炭礦好間礦業所の經理課長安孫子虎雄氏が任命された

東日本丸廻航遲る

既報小名濱漁業組合の大型漁船「東日本丸」は七月末竣成廻航の豫定であつたが關西地方に水害のため八月下旬に延期された

高坂校同窓會で

散華勇士慰靈祭

內郷村高坂小學校同窓會は來る十日午前十時から同校講堂に開き村內出征者の武運長久祈願及び散華勇士の慰靈祭を行ふ

荷路夫の村議改選

田人村組合內の荷路夫村會議員の選擧はこの程執行されたが當選者左の如し

△綠川秀男、鈴木星山、熊田彌太郎、蛭田利喜藏、綠川進、綠川信義、綠川常太郎、綠川淸次、鈴木光、芳賀多發、齋藤寅次、綠川築次

△次點　綠川築藏（有權者一一九、投票數一〇二、棄率一割四分三厘）

八月七日小名濱で

福尾氏の家庭修養會

泉村字泉福尾昇氏は生活改善の先覺者で非常時局に際し其活動の顯著なるものがあるが同氏は來る七日午後二時より小名濱町定西幼稚園に家庭修養會を開催生活の上に脅威を感ずるもの或は心に悩みあるもの等へ慰安と勇氣とを與へる爲福尾獨特の熱辯を揮ふ筈である

小名濱支局通信

時の人 素描（九）

支局長　小野務平

保姆佐久間明子さん（中）

江名隣保館に來て見ると兒童の個性から言葉の使へ樣から、その態度の上から山間兒童の扱へとは丸で正反對の性格を持つ兒童に對して其手加減が全く新規捲き出しの有樣であつた事は雲泥の相違がある、その中に如何に苦心されたかは想像に餘る處であつたらうと思ふ

隣保館の保姆のは幼稚園とも其趣きが異にして居る事は言ふまでもない幼稚園は主として有產階級の兒童であるに比し隣保館は非有產階級兒童をして保姆を懷かしむる迎の苦心慘擔さは言語に絕するものがあつた事と思ふのであるが何れも慈母の如き親しみを以てなづく兒童の心境こそ慈愛の籠つた取り扱へであると敬服を禁じ得ない次第である

佐久間保姆は本年僅かに二十五才である、普通の立場から見て二十五才と云ふ年輩では着飾り身づくろいの仕度年頃であるに引換へ朝は早く夜は遲くまで身なり構はず唯兒童あるを知つて一身を顧みない獻身的の精神には見る者、聞く者をして咳嘆を禁じ得ざらしめて居る、更に涙ぐましき一事は、總て保姆生活上の收容である、高女學校を出で一年間の養成を受け初給が一ケ月十八圓と云ふのであるさうだ、そこで佐久間保姆は三十圓の收入と云ふから保姆中では先づ高給に屬する方であるとの事である

其收入をどう賄ふかと云ふと內五圓は弟妹の學費として必らず之を父省吾氏の手許に送金する之れがドンナ場合でも決して缺した事がない、子福者たる父母の家庭に對する思ひやり、弟妹に對するいつくしみと云ふ德性の發露でなくて何であらう

海の便り

平第一甲種臨海學校

（第四日）

—波と遊ぶ—

一、初めて晴れた今日四日
燒けた砂濱それ走れ
波だしぶきだドンと來い
僕等元氣だドンと來い

× ×

二、サツト崩れて押寄せて
白く泡吹く波頭
何のサア來いドンと來い
僕等元氣だ押切るぞ

× ×

三、けれど油斷をしてゐると
惡戲波がそのすきに
足を拂つて引き倒す
油斷をせずにさあ進め

× ×

四、崩れる波を押し切れば
後には波の大うねり
フワリ浮んでやり過し
拔き切つては押し進む

× ×

五、海國男子意氣高く
今日も一日元氣よく
波に戲れ赤黑く
健康色に燒けました

臨海に來てから初めて天候に惠まれた一日だつた。唯元氣に愉快に晝食後の休憩ももどかしい位に殆んど海で暮らしたので今日一日で隨分黑くなつた。

今朝のラヂオ体操も氣持よい海の氣を胸一ぱいに吸ひながら海邊で行ふ。あまり良い天氣になるとも思へなかつた。

朝食後自習時間、それが終る頃から段々空は明るく霽れ上る。然し海の樣子は昨日同樣良くないので砂遊びや波遊びで午前中暮した。今日は一艘の舟も出て居ない從つて殘念にも僕達の待つて居た舟乘りも又延期になつてしまつた。

午後から海氣館の方の海で水泳の練習をする。大部水にも馴れて來た午後四時までたつぷり遊んだので今日は全く疲れ切つてしまつた。今日は天氣が良かつたのでお父さんお母さん大分お出でになつた。四日目でそろ／＼お乳の戀しい頃なので皆嬉しさうだつた。

ラヂオ
JOHK

今夜の部

▼後六、〇〇　子供の時間お話「昔の旅と今の旅」石川謙吾
▼後八、〇〇　連續物語下「殉國三代」記道明眞治郎
▼後八、三〇　ラヂオ時局讀本「代用品の卷」
▼後八、四〇　詩吟、佐々木孝吉アツコーディオン獨奏、近江浩一
▼後九、一〇　長唄「楠公」杵屋勘次外
▼後九、三〇　時事、ニユース、明日の話題、氣象通報、番組豫告

明日の部

▼後〇、〇〇　琵琶「臺灣人」藤田錦醴
▼後六、〇〇　（子供の時間）夏休み樂し生み袋
▼後六、二五　講演「先史日本の研究とモールス先生」長谷部言人
▼後七、三〇　國民歌謠
▼後八、〇〇　義太夫「義經要起状」泉三郎舘の段、竹本春駒
▼後八、四〇　大王神の怒謠—三重縣大王岬燈臺
▼後八、五〇　落語「出征長屋」昔々亭桃太郎

戰塵巷から

竹槍隊を組織し敵の包圍線突破

輜重中尉　西內牧造君（杉平出身）

（承前）—〇〇日は晝から食事はせず、戰鬪と强行軍のため步行さへ充分でないのに約三倍の敵襲なのですからどうして〇名の負傷者及銃を持たないものを安全地帶に避難せしめ敵の包圍線を突破するかに苦しみました、銃を持つてゐる者は膝までの水田の中で

決死の覺悟で應戰してゐるのですが、時間の經過と同時に敵は益々增加する許りなのです、八時半頃漸く負傷兵達を一千米許り後退させたので餘程敵中に斬り込まふかと思ひました、自分は最後となり敵との差僅か三十米許りなのです、然し考へて見ると

全行程の半ばにも達して居ないのです、爾後の行程中に間違ひでもあつてはと泣く／＼後退致しました、其の折の小生等の心中をお察し下さい、朝の戰鬪で〇名の戰死者を出しました、不眠不休の疲勞と敵の

多勢を賴んでの接近に目の前の戰友の〇〇を收容することが出來ないのです、どうぞその苦腦を御察し下さい、僅か〇部隊で前後三日間苦鬪の九死に一生を得た部下の者達は話も出來ない程の疲勞でした、如何に戰場とはいひ長として誠に申譯けのないことを致しました、正午漸く

友軍の宿泊地に無事着いた時は安心のため全く步行が出來ませんでした、其の後雨の中を前進、目的地に到着と同時に師團長、參謀長に報告後整理中ですが全部燒却して終つたのでなにもないのです、負傷者は目下〇〇に入院加療中です、私共は着替ひのシヤツさへなく裸で

洗濯をして居ります、過去の出來事がまるで夢の樣な氣がしてなりません、目下〇〇攻擊の準備中です、市內土橋の馬目玉彌氏の婿正君は無事でした、いづれ又そのうち詳報致します、只今頭の中がゴチヤ／＼になつて居りますから……皆樣によろしく

暑中御伺（一）

貴族院議員　金成通

石城郡銀行組合

磐城炭礦株式會社

入山採炭株式會社

古河炭礦好間鑛業所

阿部政右衛門
平市搔楯小路　電話一三七番

鹽屋
山崎合名會社

小田吉次

平藝妓屋組合

大日本電力
平營業所
電話一五四番

借りるに簡便預けて有利——
平庶民金庫
電話四九三番

愛憎三度笠

吉川延　作
瀧秋方　画

武士 二

二人の武士は、頭をはかつてサツと身を躱すと、そのまゝ闇の中に、ハタ／＼と逃げ散つたのであつた。

近藤勇と名乘つた男は戲の近藤であるか、それとも、近藤部下の一人か、それはわからぬが、そつと駕籠わきにすゝむと、駕籠屋は、おど／＼しながら、直前に突立つた儘ふるへてゐる。

「どこから參つた」

と、先づ駕籠屋に問ふ

「五條から參りまして…ヘイ」

編笠をかむつた男は、さらに駕籠屋に

「內部は何者ぢや」

と、聞いた。

「人間でございます」

「馬鹿！人間は誰でも分る！」

一喝されて

「ヘイ、なるほど」

「何がなるほどだ、男か女か」

「女らしゆうございます」

「女らしいとはなんだ」

「ヘイ、その……」

駕籠屋は先刻からの、この男の腕と意氣とに、壓迫されて、何とこたへてよいのか、茫然として、明晳に答へが出來ないのであつた。

「駕籠屋達は、とぼけてゐるな」

叱責されて、飛びあがつて

「ヘイ、どうも……その、とぼけて居りまして、不調法で、ヘイ」

と、頭を下げる。

編笠の武士は笑ひ出した。

ウフ、ゝと、小聲にもらして

「中を見せろ」

駕籠屋は、依然として鈍かつた。

「提灯が消えまして……その」

と、一人の方が相棒に

「おい提灯を持つてゐるかい」

と訊ねる。

「あゝ持つてゐる、ゐる」

「はやう、灯をともしてんか」

コツ／＼と、[illegible]を打ち出す、半鐘くさゝに、[illegible]り出すかと、おづ／＼と、武士の樣子を見ると、これは不思議に、その武士は[illegible]の空をながめつゝ、[illegible]に論斷をうなつてゐる。

漸くにして、提灯に火がついた。

「ヘイ旦那！」

と駕籠屋が呼んだ。

「ウン、灯を見せろ！」

聲をかゞめて、その武士は、駕籠の垂れを、ハラリと上に、はねあげる。

それまでに、もし、この騒ぎを見て居れば、普通であれば逃げ出すか、逃出されぬまでも、駕籠のそとに顔を出すのが人情である。

それに、この駕籠は、死人のやうに動かないのだ。

駕籠屋といへども、變な氣持に、闇黑でも出さうな氣味惡さを感じてゐるのであつた。

「死人かなア」

編笠の男が呟やく

「エツ、死んでゐますかい、旦那！」

駕籠屋はびつくりして、膝まで胴についてゐない。

「あれ見ろ」

と駕籠屋の手から、提灯を引きたくつて

「それ！」

と、顎で指すその奥には、蒼白い顔が[illegible]に、今にもお岩の幽靈にある恐ろしい齒を食ひしばつた、若い女、ぐつたりと、首を傾けてゐたのであつた。

「ヒヤーツ、ゑらいこつちや」

腰をぬかさんばかりに、二三步後へよろけるのを

「おい、かつげ」

編笠の武士は命令した。

明朗と自墮落を履き違へ 自ら誘惑の淵に陥る近代娘

毎年夏の終りに殖える悲劇の前奏曲

年頃の娘を持つ家庭へ「警鐘」

暑くなつて學校は休暇、オフィスは半どん待ちこがれた娘さん方がドッとばかりに海や山におしかけてゆきますが、そこには[illegible]なれと待ちかまへてゐる不良のゐることをわすれてはなりません

□

夏季、夏が終つておもはぬ被害に泣き入る方々のいかに多い事か、警察でも各避暑地の不良取締には年々力を入れては居りますものゝかうした取締位で安心と心をゆるしてしまふわけには到底ゆきません、むしろ、かうした事は被害とは云へ、相對的のものですから

不良 そのものを取締るより相手にされるお嬢さん乃至は奥さん方の若い女自身の警戒を喚起した方が、適切な防禦法であると申されます

□

およそ服装やお化粧は女性の趣味や心持らのレッテル見たやうなものですが、また不良が組しやすしと續きを一瞥のうちに見分け得る女性の標識であるとも云はれます

□

どんな服装がいけないか――一言でいへば間ぬけた服装がいけません、間ぬけといふ中にはボンヤリもだらしのないことも入つてゐますが、なほそれ以上に徒らな人目や浮薄な流行の模倣などがふくまれてゐます

□

たとへば奇抜な人目をひく服装をしてゐても

それ が強い個性から出發したその人獨特のものであつたなら、身に合つてゐて一分のすきもないばかりか、必ずや人格的な威厳さが備はりますから、悪人などもめつたに近よりがたいものを感じさせるのであります

□

次に言語動作、これは勿論つゝましくしとやかなれですが、見知らぬ人と口をきくなお喋りをするなかれ等の[illegible]な消極的訓戒をあたへる時代ではありません、見知らぬ人と話す場合も臆せずに正々堂々たる態度でしかも必要以内の要領にふれた話をせよ、先方に敬意を持つと同時に我が身のほこりをも傷つけるな、つまり禮儀正しくあれといふ積極的な訓戒なり注意なりが大切であります

□

しかし何といつてもまだ年のすくない十七、八歳の[illegible]の途上にある、感傷的で感受性の強い

娘盛 りにはわが身の純潔が正確にはつきかねるころですから、いつまでも前後に保護者の充分な行きとゞいたものがある事を分らすやうにしておく必要があります

□

明朗 [illegible]は隣合つてゐて若いあやまりやすい境ですが、「自らを守る」氣持のあるとなしとでその區別がはつきりつきます、避暑地の空氣は浮く彈んでゐますから、氣持のうごきには自制を忘れることも必ずありませうから、家庭でも娘達に對して細心の注意をはらふこと、しかし、といつてあまり干渉的であるのはかへつて知らぬ所でその鬱積を晴らしたい結果になります

家庭メモ

◉石鹸を無駄にせぬ法

石鹸が小さくなつて使ひにくゝなつたら濡つてとけたりくだけたりせぬうちに新しい石鹸を二三回使つて古い小さいのを密着させ古い方の縁邊を指先でギュッとおしつけておきますと少しの無駄もなく使用出來ます

劣等兒を鞭撻するには 今が絶好のチャンス

避暑ばかりが能ではない

母親の涙ぐましい努力を望む

夏休みなどは、お母さんは常よりも子供と一緒に生活する時間が、多くなつたわけで、子供に親しく子供を觀察するには非常によい機會です、お母さんが一緒になることは學校の成績と家庭のことですが、もしあなたの子供が劣等生であるとか虚弱であつたならば斯うして下さい

勉強 の出來ない子供は大抵自分が勉強の出來ないことでしかつたのではいよ〳〵自信をうしなふばかりで、自分は劣等であるといふ負け目を強くします、この「劣等觀」が劣等兒にとつては最大の致命なのです。この負け目を持つてゐる限り子供は決してよくなりません、でこれを除くには子供の長所に眼をつけてほめてやる事です、何か一つ位は長所があるものですからそれをほめて「自分もこんな事が出來るのだ」といふ自信を持たせて下さい

劣等 兒をべんたつするために他の優秀な子供とくらべるのは禁物です、[illegible]させることが出來るのは普通の智能かまたは優秀な子供の場合です、劣等兒にさういふ比較をすれば劣等兒はいよ〳〵劣等である自覺を強くがつかりしてしまふだけです、もし刺戟をあたへるならばその子供の過去の成績を持ち出して「昨日は悪かつたけれど今日は上手に出來ましたね」といふ工合にしてください、劣等兒も最も多いのは

理解 のおそいことです、ですから辛抱強く教へなければいけません、何度ならば最初の基礎を何度も何度も練習させ根本をしつかりのみ込ませる事ですれつ劣等兒には多くを教へるよりも少しを確實に教へることが必要です、しかりつけるのは誰にでも出來ますが出來ない子供だからこそしからないで教へて下さい。なほ智能檢査は是非受けて下さい、學校とか兒童相談所などでやつてゐます

子供 は暗示にかゝりやすいのですから、子供を前に「どうも生れつき弱い方で」といふやうな言葉は、その子供が虚弱であればある程禁物です、そして子供が顔色がよくないとか食慾がないとかすぐ[illegible]てしまふやうな場合は病院とか醫師にみせられることは勿論必要な事ですが醫者の注意を守らせるために「お醫者は怖いんだから」とか「お藥は嫌ひだから」といふのは、よくありません、子供に無理な事を忘れさせるやうに仕向ける事が何より大切です「これは身體のためになるんだから」といやがる食物を無理に食させてもだめです、すゝんで食べて物は血とも肉ともなるものですから

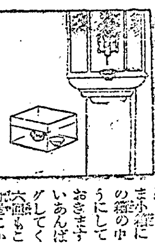
虚弱 な子供は多く我まゝになりやすいものですが、それを虚弱の故にとやすく〳〵通しやりやすいものですが、却つて子供を弱くするものです、たとへば食物がムラになつたり睡眠が不規則になれば一層弱くなるわけです、弱い子供程規則正しい規則的な生活が必要です、細心の注意で健康な子供のやうに扱つて下さい（中央社會事業協會兒童相談所）

主婦のメモ

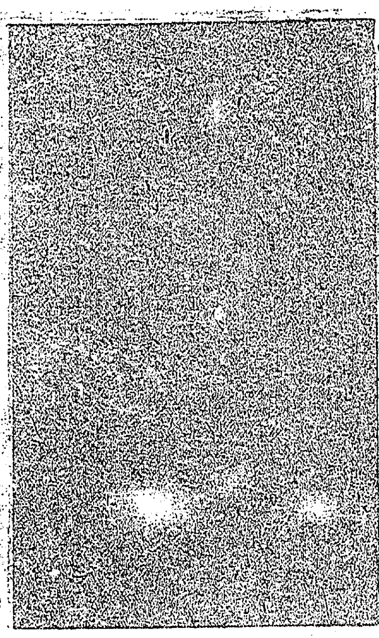
時計の素人掃除

ボン〳〵時計なら振子の所へ、平たい皿のやうな器へ揮發油を盛つて一夜入れておきます。懐中時計ですと裏フタを明けたまゝ小箱に入れ、その箱の中へ前のやうにして揮發油をおきます

すると油が蒸發してよいあんばいに掃除をクリーニングしてくれます。これを年に五六回もこころみますと、毎年時計屋にかける所は、三年四年に一回掛ればよい事になつて大變經濟でございます



流行美人の姿さまざま



●寫眞・田中絹代さんのラヂオ體操

――撮影所で通る絹代ちゃん。お目ざめにはまだ間もあらうが、まあ[illegible]まで待たう[illegible]と、鎌倉の撮影所山のお住居を訪へば、これはどうしたり、ラヂオにあはせて一二三、いまや體操の眞つ最中。

――まあ、そんなにお驚きにならなくてもいゝことよ。私の體操は美容上（特に力を入れて）にも健康上にも、とても有效なんですつて。だから、私も大いに感激して始めたのよ。感心でせう――とお人形さん、彼女の大決心がどうぞ三日坊主に終りませんやうに……

白靴のお手入法

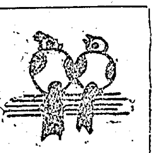
「無精者は白靴をはかないこと」

白靴が綺麗に快よい音をのこしてゆきます、白靴と申しますと大體リンネル製と革製とありますが、リンネル製の靴はおはきになる前に必ずクリームをぬつて下さい、古いものはほこりがついてゐたり底の間や縫目がよごれがちですからよくブラシをかけ、手垢や汚點があつたら眞鍮の消ゴムを使ひますと大抵きれいになります、クリームはなるべく薄目ぬる方がいゝのですが、塗る際にはブラシか乾いた布巾で靴のクリームをよくおとしてからおぬり下さい

□

つぎに白革靴の場合はリンネルとちがつて手入れも中々むづかしいものです、爪先部と白のちやんぽんの場合など色のクリームはすぐ白につきやすいため汚くしますからなるべくはぬらない方がいゝのです、これもよごれがあつたらベンヂンかやわらかい食パンを丸めて擦りつけますと革がかたくなりますから牛乳を豆腐の殻でかるくこすつていたゞくと革がなめらかになり艶も出て來ます

はいた後の始末も肝腎ですが保存木形をさし込んでおきますと形もくづれず、はき心持もずつとちがひます、又靴の先に新聞紙を丸めて少しきつ目に入れると綺麗にならず白い靴の保存上大[illegible]のが必要です（[illegible]）



海外通信

戀も押しの一手 ジョン・バリ遂に白旗

◇…昨年ジョン・バリモアを追ひまはし、汽車で、飛行機で、自動車でジョン・バリの行く先々に附まとひさすがの色男を閉口さした「アリエル嬢」こと十九歳のバリーさん、六月飄然としてハリウツドに姿をあらはした

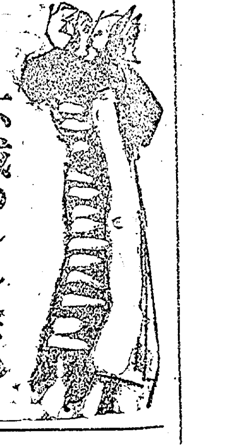
「ジョン・バリモアさんが仕事口を見つけてくれたのよ[illegible]の方で嬉しいわ、そして、成功したら妾たち結婚するの」と

◇…近代娘の押しの強さにはバリモアもたぢ〳〵の恰好らしい

御飯の傷みを防ぐ法

夏はとかく御飯がくさる、殊に麥飯や七分づきは澱粉分が多いので白米より腐敗しやすいものです、よく御飯のくさらぬために梅干しを入れる方がありますが、これは可もなく不可もなしといつた程度のもの、またオヒツの上にすだれあるひはフキンをかけるのは水分を蒸發させるので、涼しくする、つまりむらさぬといふ意味では結構ですが、外部から黴菌の侵入する道をあけてあるやうなもので、腐敗といふ點から見たら感心出來ません、否かへつてわざ〳〵御飯をくさらせるやうなもの、といふのは御飯のくさるのは外部から黴菌が入るためだからです、ではいかにして腐敗を防ぐか……

まづ（一）容器即ちおひつをよくあらふこと（二）そして充分日光にあてかわかします（三）御飯をしかける水は一度煮立てゝ冷した水で御飯をたくことです（四）また御飯をおひつに移す場合おしやもじを水でぬらす方がありますが、必ずお湯又はさましでぬらすこと（五）御飯をつける時おひつの中をかきまはさぬこと（六）もつとも大切なことは一日分の御飯を一つの容器に入れて[illegible]に朝なら朝、晝なら晝、一回分をそれ〴〵一つの容器に入れ、すぐ食べぬ分は蓋をちやんとふたをして外部から黴菌の入る機會をふせぎ、涼しい處においておかねばなりません、要は小さなおひつを三つ備へておけばよいのです（七）もし容器が木製でない場合、すなはちせとひき等の場合は御飯の水分を吸はぬのでタオル等で容器の外部をまきつけ、その一端を水にひたしておけばよろしい、ただしふたはかぶせふたにしておく



不滅のシンボル

（[illegible]）

郡司次郎正作

大澤[illegible]子畫

第七十九回

眞劍な心（二）

『今まで樂より男の方も可なり知つて居りますけど、本當に貴方を知つたといふことは、貴方様が初めてでございますわ。既々言ふやうですけれど、私は三十何年來こんな氣分になつたことは、まだ一度もございません。それだけでも貴方とは不思議な御縁だと思ふのでございます……』

そんなことを彼女は繰返し〳〵讀めてあつた手紙のことを、彼は思ひ起したのであつた。

『僕もあなたに逢つて、初めて女といふものを知つたのです。それは惑い、忘れようとしても忘れることの出來ない私の戀愛です』

女に最初に逢つて後の手紙にもさうした文句が隨所に散見されたを彼は思ひ起すことが出來た。

初めての二人の逢瀬の際には、それほど打ち解けて內面的のことには觸れず、觸れても言葉には表さなかつたのであるが、手紙には互に何一つ秘すところなく、大膽に赤裸々に告白し合へたことを彼は思ひ起すことが出來た。

あれも、これも！

おゝ、それから？

二人だけでなくては讀まれない熱烈な、そして突つ込んだ際どい文字が、何の臆面も遠慮もなくスラスラと言葉になつて表現された。

逢ふ前に既に二人の心は可なり昂められ、煽られてゐたが、逢つて後の互の心理状態は、一層それに輪を掛けたものであつた。

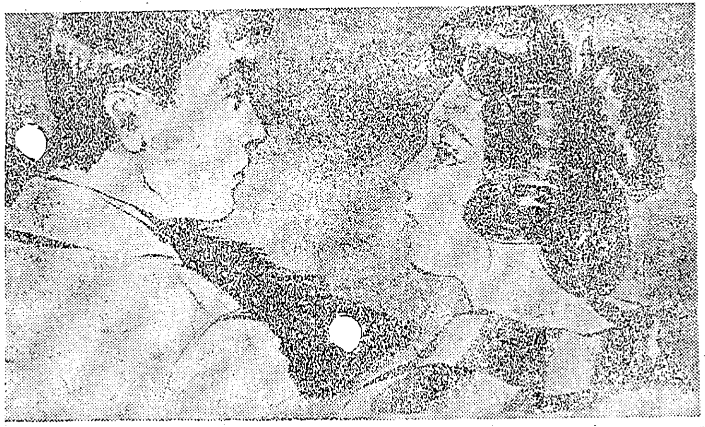
戀の前には二人は唯互の存在を意識してゐる二人であつたことを彼は今靜かに思ひ起すことが出來た。

それに伴ふ苦勞などは、微塵も意に介する二人ではなかつた。二人は唯愛し、懸命に愛し、戀に向つて突進し、戀に殉敎し、戀に死んでも惜しくない二人であつた。それは今とても少しも變りはなかつた。否、前よりも一層強く熱くなつてゐるのを、二人は互に感じ合ふことが出來るのであつた。

幸福が二人の魂を育み包んでゐるやうに、杏二も野乃も感ずるのであつた……。

『貴方の爲めなら、私此儘死んだつて！』

狂はしいまでにひたと身を寄せて來る女を、彼は其所に見た。



『子供なんか何うだつていゝわ！何うにかなつて行くわ。私、貴方が捨てさへしなければ……』

囈言のやうにさう言ひ〳〵泣きじやくつてゐた。

杏二の胸に、顔に、髪に、ベエゼの雨は息苦しいまでに降り注いだ。

『だが、戀といふものは、全く不思議なもんですねえ』

[illegible]めて、杏二は感慨深さうに言ふのであつた。

『あゝいふ遠い所にゐるあんたとかういふ仲にならうとは、本當に夢にも思はなかつた』

『ほんとにねえ。やつぱり縁があつたのねえ。貴方、さうは思はないこと？』

『思ひますよ。思はずにはゐられない。僕は一人で考へてゐる時でも、本當にこればつかりは不思議でならない氣がするんです』

故加藤政英戰死新盆の處靖國神社合祀前にも有之且つ時局柄總ての行事取止め候條乍勝手提灯其他一切の御供物等固く御辭退申上候間不惡御諒承の程希上候

昭和十三年舊七月

内郷村小島

加藤武久

亡妻ハマの新盆に相當致し候へ共時局柄提灯其他の御供物御遠慮申上度此段御承知願上候

平市二丁目

里見金太郎

誠譽賓順照賢善淸居士（故弟誠之助）新盆に相當り候處時局柄提灯供物等の御寄贈堅く御辭退申上度不惡御了承願上候

平市五丁目

大竹芳之介

亡妻温良院新盆に相當候處提灯其他佛前への御供物等一切御贈與の儀は時局柄拜辭可仕候間不惡御諒承被下度願上候

平市田町

中野憲次

美味！芳醇！

たひら正宗

山崎合名會社
電話一〇番

喜多流謠曲と仕舞の
お稽古をお奬め致します
入會隨時

喜多流謠曲仕舞
白士會
平市田町六九
電話二一七番

メガネ専門の店

メガネは絶對信用ある當店に
先づ御相談下さい…………

平市本町二丁目　玉屋

三井タクシー
平二　電話六八五番

吸入用酸素　99%純度

度量衡
モノサシ
マス
ハカリ

計量器
體温計
寒暖計

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

寫眞材料一式販賣致シマス

關内藥局
電話四〇番

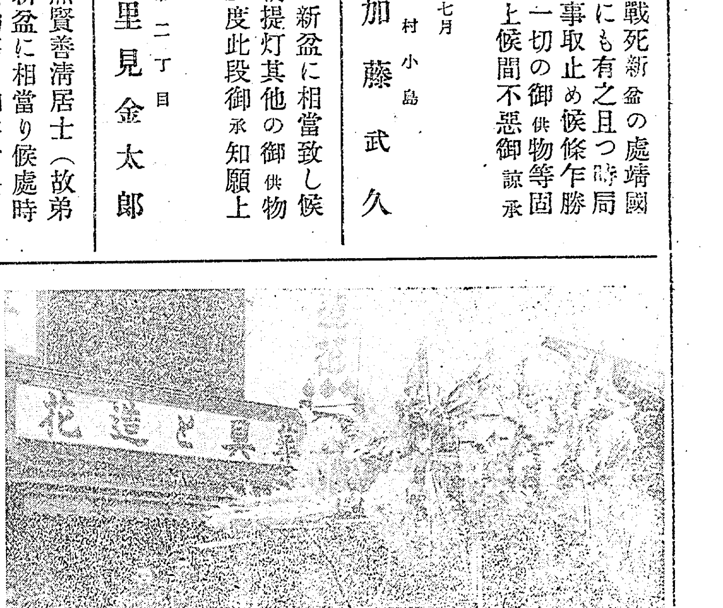
獨特のコーヒーとWINE
紳士の喫茶店
グリル バッカス
サービス料一割（外拜辭）
平市銀座通 TEL 702

女店員募集
▽年齢　十七歳より二十五歳位迄
▽月給　初給四十圓以上漸次昇給
▽待遇　衣裳貸與、食支給
何の氣苦勞もなく朗かに働ける固定給料制です。眞面目に働きたい方は！、健實な生活をお望みの方は！、至急お出下さい。
懇切に御指導致します。

（病室完備）
（入院隨時）
外科内臓外科
X光線科
院長　安齋徹
―新設―
産婦人科
醫學士　黑澤廣
▽入院隨意△
平市田町
安齋醫院
電話四七五番

産科婦人科
根本醫院
平市南町五二
根本莊次郎
根本貞雄
【電話四三番】

美味・衛生的
夏!! 飲料界の王座
アイスキャンデー
アイスクリーム
始めました。僅か一本……凉味が満喫出來ます。是非御散歩がてら御出かけ下さい。
[illegible]
平市一丁目　電話一四一番



橋本屋 神佛具造花店
平市新川町（電話一六三番）